

2022 年秋学期 カルガリー大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

事前に受検したテストから、レベルごとに分類され、文法、リスニング&スピーキング、リーディング&ライティングの三つの授業を毎日受ける。内容は基本的に教科書に沿って行われるが、リーディングのクラスでは小説を読んでその内容について話し合うというものもあった。

授業が始まる前に入学テストを一度パソコンで受けました。その後クラスが一度決まり自分がそのクラスのレベルに適しているのか確認テストがありました。それ以降はどれだけ成績が悪くても悪くてもクラスの変更はありませんでした。そのため自分に適したクラスで受けることができ理解もしやすかったです。

授業は、Grammar、Reading & Writing、Speaking & Listening の3つのクラスに分かれていました。文法のクラスは一週間に2、3ユニット進むペースで、リーディングは教科書に沿って授業を行い、2週間で1章が終わり小テストを受け、ライティングの課題も出される形で、リスニングもリーディングと同じで教科書に沿って授業を行い、2週間で1章が終わり小テストを受けました。スピーキングは授業内での話し合いやディベートなどのプロジェクトを通して成績がよくなりました。

授業のクラスはテストの結果によって振り分けられました。grammarのクラスでは一週間で2つのユニットの内容を終わらせてそのユニットのテストを受けていたので、一週間に一回のペースでテストがあり、少しペースが早いようにも感じました。readingのクラスでは、ただトピックについての文章を読むのではなく、意見交流やグループディスカッションも多くありました。

毎回ウォーミングアップとしてペアまたはグループでディスカッションをした。このグループは先生が決めるクラスもあったし、自由なクラスもあった。

20人程度の少人数クラスで、ペアやグループワークを多用した授業スタイルだった。

週5日の授業で、grammar、reading&writing、speaking&listeningの3つの授業に分かれていた。授業時間は1時間から1時間半と日によって異なる。プレゼンやグループワークが頻繁にあった。

9時-10時20分までグラマー、10時30分から12時までリーディングとライティング、13時から15時までスピーキング、リスニングの授業でした。進め方は教科書が配られ毎日教科書にそって学んでいました。

教科書に沿って進めていっていた。同じ言語を話す人同士にならないようにペアを決められて、問題を解く時ペアで話し合ったり、答え合わせをした。ペアは週ごとに替えられたりした。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

15人から20人程度の少人数のクラスで編成されている。半分以上が日本人の生徒。留学生の出身国は、韓国、中国、ベトナム、ウクライナ、スペイン、メキシコなど。

すべてのクラスが約18人前後で、日本人:留学生が8:2ぐらいの割合でした。

1クラス15人程度で、日本人が7、8割を占めていました。その他の留学生は韓国、コロンビア、チリ、スイス、ロシアなどの出身でした。アジア人が比較的多かったような気がします。

クラスは1クラス16人ほど。留学生はクラスの3分の1か半分ほどだった。コロンビア、ペルー、メキシコ、ブラジル、チリ、台湾、イランから来っていた。

日本人は半数以上を占めており、他には韓国・中国・台湾・イラン・ベトナムからの留学生がいた。

1クラス約20人程の少人数クラスで、日本人の割合は7割程度。日本人以外の国籍は、台湾、韓国、メキシコ、コロンビア、ウクライナ、シリア、スイスと様々な国から英語を学びに来ていることがわかった。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

日本人以外の生徒は常にとっても積極的で、先生が言ったことに対して分からないことがあると、常にその場で質問をしていた。全体的にはとても意欲的な人が多い。

ペアワークや、スピーキングアクティビティが多かったです。スピーキング and リスニングのクラスでは毎週プレゼンがありました。

日本の授業より発言がしやすく、皆がすごく発言に対して反応してくれるので授業を受けていてすごく楽しかったです。

どのクラスの授業も積極的に発言しやすい雰囲気でした。最初は日本人以外の留学生が発言している印象が強かったのですが、先生が個人的に当ててくれたりして段々と発言できるようになりました。授業中にお菓子やハンバーガーを食べても良いなど日本とは違った緩さがありました。

自由に発言する雰囲気があったため発言しやすかった。わからないことはわかるまでわからないと言っていたし、他の人の質問に先生ではなく留学生が答えていたこともあった。

いい意味でカジュアルな授業スタイルで、生徒が自由に発言しやすい雰囲気だった。

様々な国から留学生が来ていたため、いろいろな文化を分かち合えることで楽しく学べる環境があったと思う。日本の授業と違ってグループワークやプレゼンが何回もあることが1番の違いではないかと感じた。

日本と比べて発言する機会が多く、他の国籍の人たちはより積極的に質問をしていたと思います。

とても良かったと思う。発音とかの練習などで日本だとクラスみんなで言うみたいな事とか私はみんな恥ずかしがってあまり言わないという感じの事を体験してきたけれど、こっちのみんなは楽しそうに言ったりしてそこもとても良い雰囲気だなと思った。みんな分からない所があれば何回でもすぐに先生に聞いていて、先生がその質問の解説をして、みんなも聞いていて自分が理解している所でも復習できたので良かった。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

教育、ビジネス

ハロウインの時期と被っていたのでカナダでのハロウインの過ごし方やハロウインの歴史についての授業が印象に残っています。

お金で幸せは買えるのか

特に印象に残っているトピックはマーケティング(広告)についてのトピックです。普段身近にある広告について今までは深く考えたことがなかったのですが、授業を通して、広告のメリットやデメリットを考えたり、世界にはどのような広告があるのか知ることが出来ました。また、このトピックについてプレゼンテーションをしたので特に印象に残っています。

どのようにしたら脳は健康でいられるか。ショートバージョンとロングバージョンの長所と短所。

世界各国の「成人式」について。成人を祝うのは勝手に日本だけだと思っていたので各国独自の儀式について学んだことが特に印象に残っている。

speaking&listening の授業の中での「幸せはお金で買えるのか」というトピック。

リーディングライティングの授業で the giver という小説が配られ、毎週読むところを決められ一回の授業内でグループで話し合う機会がありました。その関連する質問をする人、大事なパートを取り上げる人、登場人物に当てはまる adj を説明する人、大事なボキャブラリーを説明する人に分かれて、ディベートしました。その為にも十分な準備が必要でした。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

当たり前のことだが、課題を丁寧にやっていくこと。分からないことはその場で質問すること。先生が話したことについてメモを取ること。

小テストが必ず週に一度はいずれかのクラスありました。そのため、毎日の課題はもちろん復習をしっかりとっていました。

自分から積極的に発言すること、分からないことがあればそのままにせず先生や友達に聞くことを意識していました。

授業を受けるにあたって予習をとっても大切にしていました。授業前に予習をして、授業中に分からなかったことや授業内で分からなかったことをまとめて聞くようにしていました。そうすることで分からないことがないようにしていました。

わからないことは必ず先生に聞く。ペアが自由なクラスでは留学生の横に座る。わからない単語を書き留め、調べる。積極的に授業に参加し、発言する。

教科書に付属していたオンライン自習ツールを大いに活用して、授業外の予習復習をしていました。また授業中にわからないところがあれば積極的に先生に質問していた。

海外の留学生は日本人よりも積極的に発言をしている印象があったので、自分もたくさん発言をして積極的に授業に参加しようとした。質問もわからないところがあったら、その場ですぐに質問しようと心がけた。

分からない単語があれば英語で同義語を調べるか先生に聞き、日本語で調べる機会を減らし、すぐにメモするようにしていました。分からないことがあれば、授業中や授業後に先生に質問し解消するようにとりよけていました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。
0人	-
1人	メキシコ、フィリピン

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
電車	15-30分	ホームステイ先
電車	30-45分	ホームステイ先
電車	60-75分	ホームステイ先
バス	45-60分	ホームステイ先

部屋に用意してあったものは何ですか。
勉強机、イス、ベッド、棚、クローゼット、勉強机のライト、タンス、延長コード
ベット、机、クローゼット
ベッド、勉強机、イス、本棚、衣服を入れる棚、マスク、ホワイトボード、ペン、消毒液、ハンガー
ほとんどのものを用意していただいていた。バスタオルや洗濯用品までありました。
ベッド、机、パソコン、暖房、ハンガー、タンス、歯磨き粉、シャンプー、リンス、ボディーソープ、タオル、バスタオルなど
ベット・寝具・ハンガー・机・椅子・デスクライト・収納棚
テレビ、ベッド、クローゼット、勉強机
ベッド、机、鏡、棚、ハンガー

自分で用意したものは何ですか。
タオル、シャンプー、リンスなど
ドライヤー、シャンプー、リンス、スリッパ
洗濯ネット、シャンプー
ほとんどのものを用意していただいていたので、自分が使う洗面用品(洗顔料、化粧水など)、衣類くらいでした。
衣服、歯ブラシ、自分に必要な日用品、薬など
バスタオル・シャンプー・リンス・ボディーソープ

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

思ったことは何でも言葉にして伝えることが大切だと感じた。日本では、言葉に出さなくても相手の表情や行動を見て「読み取る」という文化があるが、外国では直接言わないと全く伝わらないということが分かった。この食べ物は好きではない、これが美味しい、もう少しこうしてほしいなど、自分の意見は直接伝えるべき。

とにかく話してコミュニケーションを積極的に取ることだと思います。晩御飯がいらない時は早めに連絡することや、わからないことは勝手に行動せず確認してからするべきです。

ホストファミリーとよく話すこと、使っていていかに分からないなどの時は迷わず聞くこと、自分の話を話すだけでなく相手のことについてもよく聞くことが重要です。

家の中に靴で入ることに抵抗がある人はスリッパやクロックスなど楽に過ごせる靴を持っていった方がいいと思います。シャワーを自分で調節することが出来ないで掃除する時などに使える桶のようなものを持っていった方がいいと思います。

きちんと自分の意見を言うこと。部屋に籠らないこと。

ハウスルールを事前にホストファミリーに確認しておくこと。誤解がないようにわからないことがあればすぐに聞くこと。

シャワーの際に、シャワーヘッドが動かない家がほとんどだと思うので取手付きの桶を持っていくことをお勧めします。

家が大きかったのでホストファミリーに会わなくても過ごせますが、毎日会うようにして挨拶をしてお話をする。Thank you をしっかり言うようにしました。

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

トイレトペーパーが流せないこと。洗濯が週1回しかできないこと。家の中がとても暖かいこと。

家に地下室があること。乾燥機を使うこと。湯船に浸からないこと。

トイレのドアを使っていない時は開けておかないといけないこと。

知ってはいましたが、靴のまま部屋に入る習慣を実際に見て驚きました。特に戸惑ったのは、お風呂でした。シャワーを自分で持つことができず、ノズルが固定されていたのでとても不便に感じました。また、水圧も自分で調節することが出来なかったので慣れるまで大変でした。

家全体を温める機械が壊れると水道の水が凍って出なくなること。

湯船に浸かることができなかったこと。壁が薄くて話し声がかなり聞こえたこと。

シャワーの時間が限られている。

フィリピンのホストファミリーだったので一度ホストファミリーとホストファミリーの友人でフィリピン式のパーティーがあり、豚丸一匹出てきたり食べ物に驚きました。

パソコンは 持参しましたか	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	LAN ケーブルで可能	いいえ

携帯電話は 持参しましたか	利用方法
はい	日本で海外用携帯を購入・レンタルして持参
はい	日本から SIM カードを持参

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

フットボールの観戦、graduation party への参加

週1回の Japanese Conversation Club に参加し英語で現地の大学生と交流しました。

自由時間は友達と大学の綺麗な図書館を利用して勉強をしに行ったり、ダウタウンにお買い物をしに行ったりしました。大学主催のプログラムにも何度か参加し、ホッケーやフットボールを見に行ったりしました。

日本語クラブに参加して現地の方や他の留学生と交流した。このクラブでは大学の人だけでなく一般の人も参加できるので、様々な人の話を聞くことができた。グループになり交互に 15 分ずつ日本語の時間と英語の時間があり、日本語の時間は日本語のみ英語の時間は英語のみでフリートークのような感じだった。また、週に一度大学の学生ボランティアの方とスピーキングやリスニングの練習をした。その他、スクールトリップに参加した。

大学主催のハロウィンパーティーやパンプキンカービングのイベント、W 杯の観戦会に参加した。また大学が提供する語学のボランティアサービスを受けていた。

私は大学が提供している Activity program に参加して様々な観光地を訪れたりして現地の生活を楽しむことができました。

同じプログラムのイベントがいくつかあったので友達作りのためにできる限り参加していました。土日には知り合った外国人やネイティブの友達とご飯やカフェに行くことが多かったです。

学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

カフェ

友達とカフェに行く。学校内のフードコートが充実していたのでよく利用しました。

図書館

学内の図書館、ダウタウンにある core mall (ショッピングモール)、chinook centre (ショッピングモール)

学生ラウンジで放課後課題をよくした。Tim Horton。安くて、美味しい。

大学のジムに通って運動していた。ダウタウンにある公共図書館をよく利用していた。

学内でよく利用した施設は図書館です。学校が終わった後にその日の復習や、課題も兼ねてよく利用していました。また、他の国から来た留学生との交流を深めるためカフェなどで自由時間を過ごしていました。

火曜日と木曜日のお昼の時間は 1 時間半あったので、学生証があれば誰でも入れるのでお昼の時間には gym をよく利用していました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備

カナダの天気、気温、文化、生活習慣など、日常生活の面でできる限り大きな衝撃を受けることなく、早く適応できるように準備をした。

英会話の本を購入し読んでいました。

英語力を上げること。

留学前は授業のために文法の復習をしたり、日常的に使いやすい英フレーズを覚えたりしました。

毎日英語のラジオを聞いた。英語の本を読んだ。日本について再度調べたり勉強したりした。

カナダの文化、気候を調べたり、先輩の留学体験談を確認したりした。YouTube でカルガリーに留学している方の動画を見て、現地のあれこれを学んでいた。日常生活で使う英語を調べてノートにまとめた。

私が行った大学は、クラス分けのテストがあると事前に知らされていたため、TOEFL の勉強を主にしていました。また、一から英文法を見直したり留学生活をスムーズに送れるような勉強面での準備をたくさん行いました。

TOEIC の勉強をしていました。あとは日常でよく使える英会話フレーズなどの本を読んでいました。

留学前にしておけばよかったと思う準備

日常生活で使用する英語表現や、スラング、相槌表現をもっと学習しておけばよかったと思った。

リスニングの練習をもっとしておくべきだったと思います。

ホストファミリーとテレビを見る機会が多かったので、スポーツやドラマなどに関する英語表現をもっと知っておくべきでした。

他の留学生はとにかく自分の意見を英語でまとめて書くのが早かったので、もっと色んなトピックを読んで自分の意見を書けるように練習しておけばよかったと思います。

もっと語彙を増やす。日常会話のフレーズをもっと覚えておけばよかった。もっと日本についての知り、それを英語で説明できるようになっておくべきだった。知っているも、英語が分からなくて深く説明できなかった。

日本経済について入念に調べておくべきだった(ホストファミリーにインフレ率や物価について尋ねられたとき上手く答えられなかったのだ)。

お金に余裕があれば、英会話教室に通うなどして英語を喋ることにに対してしっかりと準備をしているとより充実した留学生活になったと思う。なぜなら、言葉の壁は大きいと実感したからです。

留学中にもTOEFL対策の勉強出来ると思っていましたが、授業の課題が多く個人で勉強する暇があまりなかったのでTOEFL対策をもう少しすべきだったと思っています。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

耳栓、エコバッグ、ファブリーズ、除菌シート、角ハンガー、ハンドソープ、ハンドクリーム、リップクリーム、桶

ホストファミリーへのお土産。お箸、置物、インスタントのお味噌汁。

ふりかけ、緑茶のティーパック、お菓子

役に立ったのは室内用のスリッパと日本製品のシャンプー、トリートメントです。最後の方にシャンプーが無くなってしまって現地で購入しましたが、私には合いませんでした。日本のサララップをホストマザーにあげたら喜ばれました。

日本のお土産。極暖の服やレギンス。ヴァセリン。

ポケットティッシュとカイロが役に立った。喜ばれたものはおせんべいや抹茶のお菓子、日本のチョコレート。

抹茶のお菓子、日本の文具全般(特に、消せるボールペンは珍しくて大変喜ばれました。)役立ったものは自分で食べる用の日本食

ドライヤー、調味料、味噌汁、日本のお菓子、カイロ、ユニクロのヒートテック類

日本から持っていく必要のなかったもの

ハンガー

大量のバスタオル一週間分持っていきましたが、週一回でカナダはバスタオルを変える文化なので持っていきすぎました。洗濯ネット

マスク

お米などの日本食

日本から持参すればよかったと思ったもの

喉をケア出来るのものを持っていけばよかったと思います。日本と比べるととても乾燥していて慣れるまでは喉が痛い日が何度かありました。掃除するものが大きい掃除機しかなかったので、粘着カーペットクリーナーのような簡易掃除用品を持参すればよかったと思いました。

うがい薬(カルガリーは乾燥していて喉を痛めることが多かったのだ)。

日本らしいグッズ(友達にプレゼントする時の)

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。
クレジットカード2種類、現金
現金で 50,000 円ほど。ほとんど使わずクレジットカードで生活していました。
クレジットカードと現金
VISA カードを 2 枚、Master カードを 1 枚、現金を用意しました。
クレジットカード、現金。
クレジットカードは Visa と Master の 2 枚を用意し、併せて現金も準備した。
クレジットカード、現金、デビットカード
クレジットカード、現金
クレジットカード 2 枚・デビットカード 1 枚・現金

現地で支払った住居費と食費を教えてください。
外食する時の食事は 1 回大体 3000 円～4000 円程度でした。個別に分けて支払うことができるお店が多くて、とても便利でした。

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。
テキスト代は授業料に含まれており、通学費は大学から提供された乗り放題バスを使っていた。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。
約10万円
月に 50,000 円ほど。
20 万円前後
友達とショッピングに行ったりした時は、服や靴を買って、1 万円ほど一回の買い物で使っていました。
旅行で12万円程度、買い物で3万円程度使った。
旅行費:約 50 万程度 買い物:約 15 万程度
15 万くらいだと思います。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
リスニング力と語彙力は向上したと感じる。イディオムを覚えて使うことで、よりコミュニケーション能力が上がったと感じた。
文法は一度習った内容を現地のニュアンスと合わせて復習できた。リスニング力は確実に向上して、大体の内容が理解できるようになった。スピーキング力は簡単な受け答えができるようになった。
語学力はスピーキングの授業でかなり培われた。コミュニケーション能力は、最初は難しいと感じたが、だんだん慣れてきて、多くの人と話せるようになった。
常に英語を用いて積極的にコミュニケーションをとっていたので、speaking の力は非常に伸びた。
語学力・コミュニケーション能力ともに留学前から上がったと感じています。最後のスピーキングのテストの練習でクラスの友達とコミュニケーションを取りましたが、相手の伝えたいことを理解することができたり、自分の伝えたいことを英語で伝えることができたりしたので語学力とコミュニケーション

は上がったと感じています。
留学前より語学力は上がったと思います。一番効果を感じるのはリスニング力です。聞き取ることができないと返事をするのも不可能になるためどんな時でも耳を澄まして聞き取るように努力していました。
語学力は、非常に伸びたと思います。たった3か月でしたが、実際に現地の方と話すことによって、どう返事を返したらいいのかや、留学中はわからないことだらけだったので失礼にならない質問の仕方などを学びました。コミュニケーション能力も伸びました。副詞を使ってもっと表現力豊かに出来たら、もっとコミュニケーション能力が上がったように感じました。
ポキャブラリーが増え、リスニング力が向上した
常に英語を使って生活するのでスピーキング力が特に向上したと感じます。また、徐々に使える英語が増えて自信もついたと思います。実際に最後のスピーキングテストでは先生に最初よりもはるかに自信がついたように見えると言われてもらえました。また、他の国の生徒に自分から話しかけてみたり、大学内のサークルのようなものに参加して現地の大学生と交流することによりコミュニケーション力も向上したのではないかと思います。
リスニング力は留学前に比べて上がったと感じました。リスニングテストはテストの成績が上がりました。留学当初は、レストランやお店に行った際店員さんの言葉が全く聞き取れず苦戦していましたが、徐々に以前よりは聞き取れるようになった気がします。コミュニケーション能力に関してはまだまだ単語を並べて話すことが多く文章であまり伝えることができなかったのもっと話せるように努力が必要だと感じました。
最初は積極的に話しかけることを躊躇していたがだんだん自分からコミュニケーションをとることができた。

留学前の目標とその達成度

留学前は、映画を字幕なしで聞き取れるようになることを目標にし、帰国後は一通り字幕を使わずに見ることができるようになり目標を達成することができました。
文法は目標を達成できた。リスニングとスピーキングはもう少し現地の人と会話ができるようになりたかった。
カナダの文化を肌で感じ、理解も深まった。ホストマザーともコミュニケーションをよく取り、お互いの理解を深めあうことが出来た。
留学前の目標は英語を用いて、積極的に海外の人とコミュニケーションを図ることであったので十分に達成できた。
留学前はコミュニケーション能力を取ることが苦手でしたが、留学を終えた今、以前よりコミュニケーション取るということについて抵抗が減りました。
自分から積極的に外国人のクラスメートに話しかけるようにすることが私の目標でした。私は人見知りで自分から話しかけるのが苦手なほうですが、この目標は達成できたと思います。いろんな国の人とたくさんコミュニケーションをとり、いろんな文化を知ることができました。
ネイティブの人と会話をしたことがなかったので、まずは会話ができるようになることを目標でした。留学初日にホストファミリーと初めて会ったとき、ものすごく緊張しました。ホストファミリーが話しかけてくれても、単純に答えるだけでした。しかし終盤になると、会話のキャッチボールができました。日常生活で急に知らない人から話しかけられても会話ができました。達成度は、8割程度です。
話せるようになりたかったけど三か月じゃ無理だった。
教科書で習う英語ではなく、実際に使われている英語に触れて speaking 力を向上させたいと考えていた。留学前にくらべ自分の意見を英語でより言えるようになったと感じる。
コミュニケーションを多くとる、とれるようになりたいと思っていた。達成できたと感じている。
留学前までは英語力をあげたいと漠然とした目標を持っていました。しかし、現地で過ごしていくうちに英語力の中でもスピーキングに力を入れたいと思うようになりました。学校で勉強する中で grammar, writing, reading, listening を伸ばたと感じてはいますが、自分の中ではスピーキングが1番伸ばすことができたと思います。結果的には英語力を伸ばすことができたので良かったと思います。
留学先で現地の友達を作ることができたが英語でケンカできるほどではないので 65%目標達成したと思う。
留学前の目標はリスニング力の向上とスピーキング力の向上です。達成度はリスニングに関しては、留学前に比べて、向上した気がします。発音のアクセントやイントネーションを先生に指摘されることが多かったのもっと勉強と発音の練習が必要だと感じました。

留学を通しての成長ポイント

英語を話すことに対する自信は身についたと感じる。また一人で行動することが多く、判断力も身についた。自信がついたという理由から積極的に話せるようになり、より外向的な性格になった。

ネイティブと会話することになっても、おびえることなくコミュニケーションを取ろうという勇気や意志が身についた。

分からないところを聞く力。分からないところをそのままにしていた方が怒られるし、話がスムーズに進まない。

コミュニケーションスキルは伸びたと感じる。又、自分に対して自信がついた。

私は留学を通してリーディングの速読力と読解力が身についたと感じます。授業で習った方法やホストマザーと日常会話の時に出る単語などを思い出して速く読み解く力が付きました。

カナダの人はとてもオープンな人柄の人が多かったです。

チャレンジする力が身に付きました。初めての海外なので緊張と不安があり引込み思案になっていましたが、生活が慣れていくにつれ失敗は当たり前という考えに変わっていききました。そこから、店員さんや知らない人に分からないことを聞くようになりました。

文法や読解力、コミュニケーション能力

ネイティブスピーカーの話す速度のリスニングができるようになったこと。

リスニング、スピーキング

この留学を通して、間違えることに対して抵抗がなくなったことが自分の中で大きな成長ポイントだと思っています。出発前の英語学習では、文法が間違っていたら、単語が間違っていたらと何かと完璧を求めがちでしたが、留学を通して間違いから学ぶ大切さを知ることができました。

自分の力で問題を解決をするというスキル。

リスニング力は留学前に比べて上がったと感じました。リスニングテストはテストの成績が上がりました。留学当初は、レストランやお店に行った際店員さんの言葉が全く聞き取れず苦戦していましたが、徐々に以前よりは聞き取れるようになった気がします。ホストファミリーと会話していても会話の内容が徐々に理解できるようになりました。

なんでもポジティブに考えられるようになった。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前は、1日に10単語でもいいので、勉強はするようにしていた。留学中は、常に英語の環境に浸っていたため、使える語彙を増やすことに集中していたので、勉強することは楽しかった。留学後も、モチベーションを落とさずに1日に1時間勉強を続けられている。

留学中、帰国後はビジネスシーンではなくとも旅行などで会話ができるくらいに英語力をつけたいと思った

留学中→先生の言っていることが分かるようにもっと頑張らないと 留学後→もう1回カナダに行きたい、ワーホリに行きたい

モチベーションの変化はあまり変わらず今後も語学力向上のために全力を尽くす。

留学前は初めての外国ということもあり不安でいっぱいでした。留学中はうまくコミュニケーションが取れず、悔しい思いもしました。留学中は周りに刺激されていたので常にモチベーションは高かったです。留学後は学んできたことをおろそかにしたくないという思いで英語の勉強を続けています。

留学前より外国の方とたくさん話ができるようになりたいという気持ちが強まりました。現地の人は話すスピードが本当に速いので聞き取れないことが多々ありました。悔しい思いもたくさんしたので、これからもっと英語力を高められるように頑張ろうと思います。

留学前は、不安よりも楽しみの気持ちのほうが大きかったです。留学中は不安のほうが大きくなり、コミュニケーションを取るために勉強に対する焦りの気持ちが大きかったです。後半になるにつれて、気持ちの余裕ができ、会話メインの勉強をしました。留学後は、留学中に比べたらモチベーションは少し下がりましたが、TOEICやTOEFLのために勉強するつもりです。

留学前より明らかに語学学習に対するモチベーションは高い。とくに留学中は高かった。

留学以前も積極的に外部試験を受けていたが、今後はさらに挑戦したいと思う。

TOEICに向けて語学力をキープしたいと思っている。

留学前はずっと憧れだった留学に行けるということがモチベーションになっていました。留学に行ってから、誰かと英語で話すことがモチベーションでした。テキストを開いてする勉強ではなく、会話の中での学びがとても楽しかったです。留学後の今は、滞在していたホストファミリーに会いに行くこと、次の留学を計画することをモチベーションにもっと英語の勉強を頑張ろうと思っています。

自分の英語を褒められる機会が増え、もっと話せるようになりたいというモチベーションに繋がった。

留学前は授業についていけるのか、上手く英語を話すことができるのか、など不安でいっぱいでした。ですが、留学中は不安や心配を考えている暇がないくらい毎日が忙しく、とても充実していました。ホストファミリーや先生、現地の人と話したりしていて、うまく言葉が出てこなかったり会話を理解することができなったり、悔しい思いをたくさんしてきました。ですが、その悔しい思いをバネにもっともっと英語をマスターしたい、勉強したいと留学前よりも強く思うようになりました。圧倒的に留学前よりもモチベーションが上がったと感じます。

留学前より留学中のほうが日常で英語を使う機会が増えたのでモチベーションが向上し留学後も語学学習に対して以前よりやる気が向上した。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

母国語が英語の人と、友達を作ろうとしたところ。

最後のスピーキングでのパートナーと会話をするというテスト

プレゼン作成。グループでの発表が多く、協力しながらやるのが意外と難しかった。

授業に対する意識や日々の課題は100%の力を出すことができた。

最後のスピーキングのテストです。当日までトピックとパートナーがわからないうえに二人で8~10分喋らないといけませんでした。とりあえずトピックの単語や内容の勉強をしましたが、当日はトピックに沿いながらも私が練習していたこととは全く違う状況になりました。少し焦りましたが留学を始めてから培ってきた英単語やコミュニケーション能力を存分に発揮して満点に近い点数をいただきました。

旅行に行った時に飛行機が10時間以上遅れるトラブルが発生しました。自分で航空会社に電話したり、ホテルに電話をしたりすることが一番難しかったなと感じます。英語での電話の難しさを実感しました。

大学の課題で、知らない人にアンケートを取った時です。バスを待っているときに、隣に座ったおじいさんに声をかけました。話の内容は半分くらいしか分からなかったのですが、いい経験ができました。

期末テスト。

その場で自分の意見を考えクラスで発表する際や、プレゼンテーションや writing 課題の際。

日本語クラブで話しかける。その後もその友達とたくさん遊んでたくさん英語を話しました。

grammar のプレゼンです。ペアの生徒が学校に来ない日が何日もあり、プレゼンの内容をあまり理解しておらず、また、発表のスライドを作るのが遅かった時がありました。連絡を取り、これをこの日までにやって欲しい、少し内容が間違っているというようなことをはっきりと伝えたことです。日本ではあまり経験したことがないことだったので大変でした。

プレゼンテーションです。外大でもプレゼンの授業はありますが、日本では十分に時間を設けてくれて時間をかけてプレゼンを作っていましたが、プレゼンは1週間で完成させないといけなかったり、プレゼン3つ締め切りが近づいていたり、時間がないなか隙間時間や放課後など留学中 100%力を振り絞った瞬間だったと感じます。

以前はプレゼンテーションがすごく苦手だったがペアの子と協力しながらプレゼンテーションを成功させることができた。

留学先大学の良かった点

6段階にレベル分けされ、自分に合ったレベルでの授業が受けられることはとても良いところであると思います。

先生たちがいい人でこちらの話を理解しようとしてくれた。ジムなどの設備も完ぺきできれいだった。

たくさんのプログラムを用意していたこと。泊まりがけのものなどもあり、楽しそうだった。先生も優しく、すごく褒めてくれてやる気があがった。

留学先の教授は積極的にコミュニケーションをとってくれるので、非常に授業もやりやすく、良い環境であった。

学食にはたくさんのご飯があったり、無料で使用できるジムがあったりしたこと。

大学主催のアクティビティプログラムがとても充実していた点がよかったです。アクティビティを通して日本では見ることのできない景色を見たり、新しい友達もできてとてもいい経験をすることができました。

施設が非常にきれいで、充実していました。また学校主催のアクティビティがたくさんあったので、英語の上達にもなったし、記念にもなりました。

ロッキー山脈の近くということもあってか、たくさんのアクティビティがあり、いろいろな観光地に行けたこと。大学内がとても広く、図書館や食堂などの設備が整っていたこと。